

公益社団法人日本眼科医会 第1回記者懇談会

「日本眼科医会の活動について」

公益社団法人 日本眼科医会 会長 高野 繁
平成27年7月22日(水)

講演内容

1. 日眼医の概要
2. 日眼医活動の3つの柱
3. 主な活動
～日本版ビジョンバンの誕生について～
4. お願い

1. 日眼医の概要

(1) 日本眼科医会の歩み

昭和 5年	日本眼科医師会として創立
昭和17年	太平洋戦争勃発のため解散
昭和26年	日本眼科医会として再建創立
昭和55年	社団法人として厚生省から認可
平成24年	公益社団法人として 内閣府から認可

(2) 会員数(平成27年3月末現在)

14,033名

開業医：6,387名（45%）

勤務医：7,646名（55%）

男性：8,294名（60%）

女性：5,739名（40%）

(3) 役員 27名

会 長 1名

副会長 3名

常任理事 10名

理 事 11名

監 事 2名

(代議員会議長 1名)

(代議員会副議長 1名)

(4) 事業部

- ① 総務部管理
- ② 総務部企画
- ③ 経理部
- ④ 公衆衛生部
- ⑤ 広報部
- ⑥ 学校保健部
- ⑦ 学術部
- ⑧ 社会保険部
- ⑨ 医療対策部
- ⑩ 勤務医部

(5) 特徴

- ① 47都道府県に支部機能が存在すること
- ② 公益財団法人 日本眼科学会との連携がうまくいっていること
- ③ 政治連盟が存在すること

(6) 日本眼科学会との事業のすみ分け

- ①日本眼科学会 — 学術
- ②日本眼科医会 — 医療政策

(7) 日本眼科学会との連携

- ①眼科専門医制度委員会
- ②日本眼科社会保険会議
- ③日本眼科啓発会議

2. 日眼医活動の3つの柱

- (1) 確実なデータの構築
- (2) 国民の理解を得るための啓発
- (3) 政治的な活動

3. 主な活動

日本版ビジョン・バンの誕生について

米国版ビジョン・バン

平成23年4月13日 日本到着

以降、3ヵ月間で約3,500人の被災者の眼科診療にあたった。



政治的な活動

民主党目を守る議員連盟

設立総会 平成22年11月25日(木)
 於：衆議院議員会館
 賛同団体 社団法人日本眼科医会
 財団法人日本眼科学会
 社団法人日本視能訓練士協会
 会 長 中井 洽 衆議院議員
 事務局長 吉田統彦 衆議院議員
 参 加 者 衆議院議員36名
 参議院議員10名

日本版ビジョン・バン

平成23年度厚生労働省第3次補正予算



平成24年度宮城県地域医療再生計画



宮城県眼科医会眼科医療支援車両事業

眼科医療支援車両事業

事業期間… 平成24年度～平成27年度

事業総額… 100,000,000円

眼科車両 35,000,000円

眼科検査機器 35,000,000円

事業経費 30,000,000円

事業内容… 眼科専用の医療機器を搭載した医療支援車両を整備し、東日本大震災で被災した地域の眼科巡回診療・健診事業を行う。

実施主体… 宮城県眼科医会



フィリピン災害における ビジョンバン眼科医療支援について

フィリピンの被災地視察
平成26年1月3日(金)～5日(日)

- ① フィリピン保健省への訪問
- ② 在フィリピン日本大使館への情報提供
- ③ フィリピン眼科学会との情報交換
- ④ 被災地（タクロバン）の視察



ビジョンバン派遣の成果

平成26年2月19日(水)～28日(金) (10日間)

被災地であるタクロバン市を中心に、現地の眼科医が中心となって巡回診療を行い、約2,000人の患者の診察にあたった。タクロバン市民より、熱烈的な歓迎を受けて日程を終了した。

今後の被災地の眼科医療の復興の大きなきっかけになったと思われる。





ビジョンバン派遣への評価

- ① タクロバン市よりの感謝状
- ② フィリピン国保健省よりの感謝状
- ③ メスキュード医療安全基金よりの
表彰状と寄付金300万円
- ④ ASEAN+3 保健担当高級実務者会議
(東南アジア諸国連合+日中韓)
*6/19 チェンライ(タイ)で開催された
上記会議で日本からのフィリピンへの国際貢献
として報告された。

4. お願い

眼科領域の課題

1. 公的な健診プログラムの創設の問題
2. コンタクトレンズの安全性についての問題
3. レーシック手術の安全性についての問題
4. 学校における色覚検査の問題
5. 自動車運転免許証更新時の視覚検査の問題

etc.

ご清聴

ありがとう

ございました。